

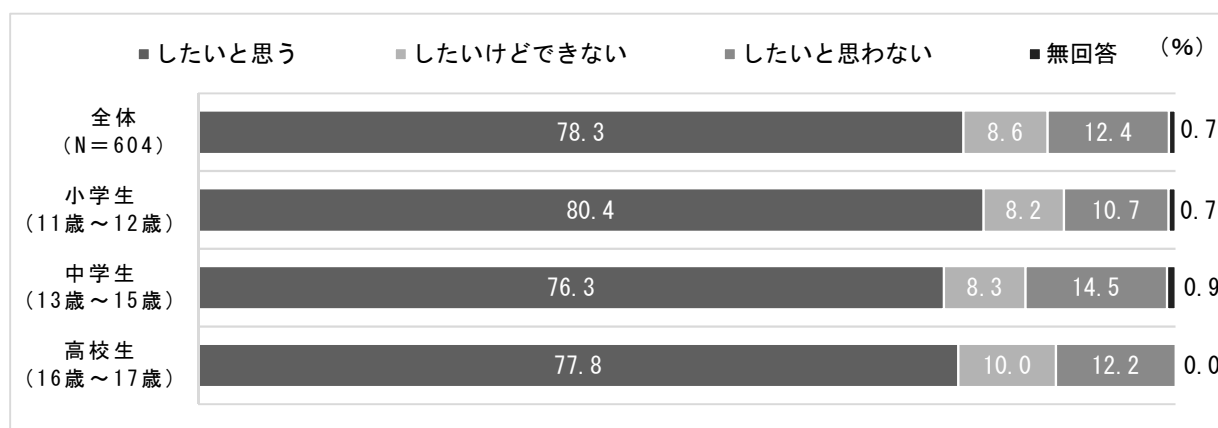
3 相談するところについて

(1) 相談する相手

【子ども：年齢別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思うかをたずねたところ、子ども全体では「したいと思う」という回答が 78.3%でした。年齢別にみると、「したいと思う」という回答の割合は、小学生世代が 80.4%と最も高くなりました。

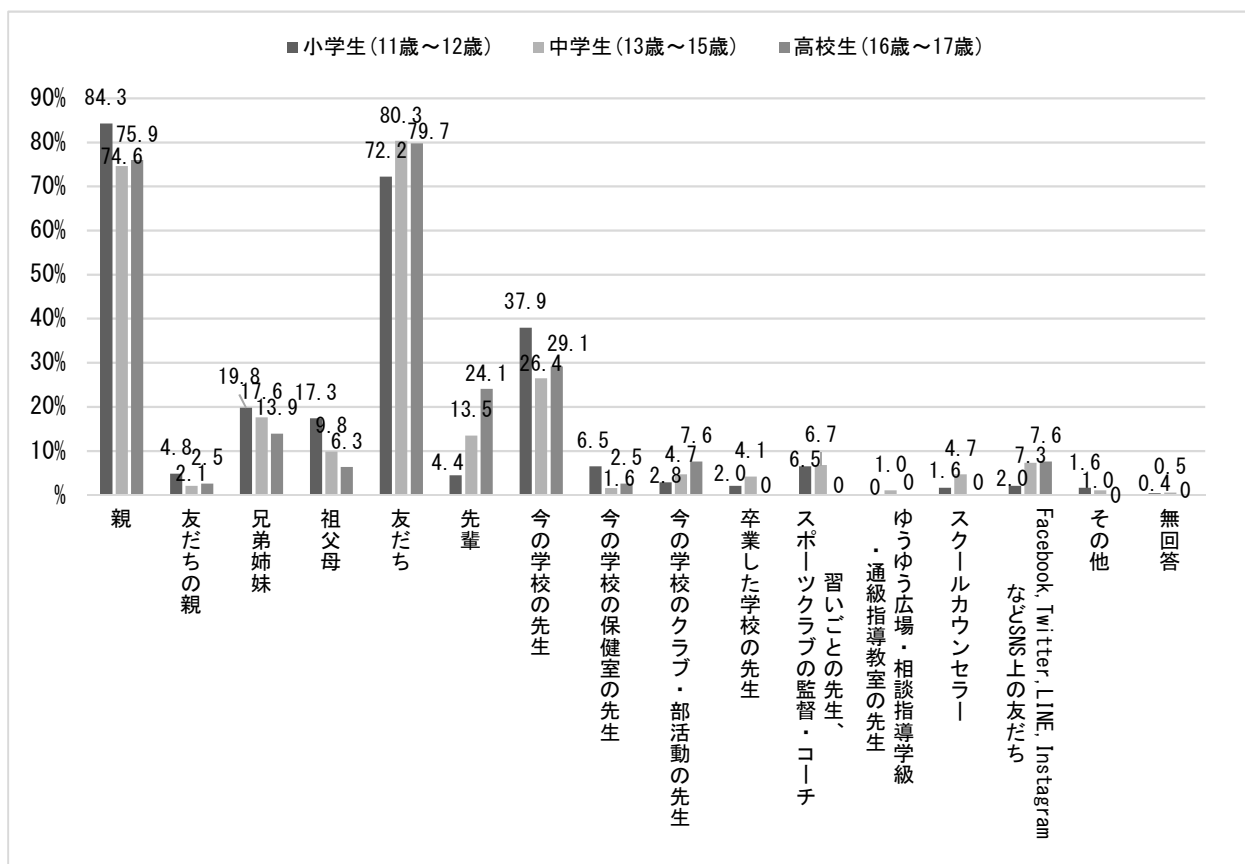
図 48 Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。【子ども：年齢別】



【子ども：年齢別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談するかをたずねたところ、小学生世代は「親」と答えた割合が最も高く、中学生・高校生世代は「友だち」と答えた割合が最も高くなりました。(図は P. 44 図 49 を参照)

図 49 Q 17 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(複数選択可)【子ども：年齢別】

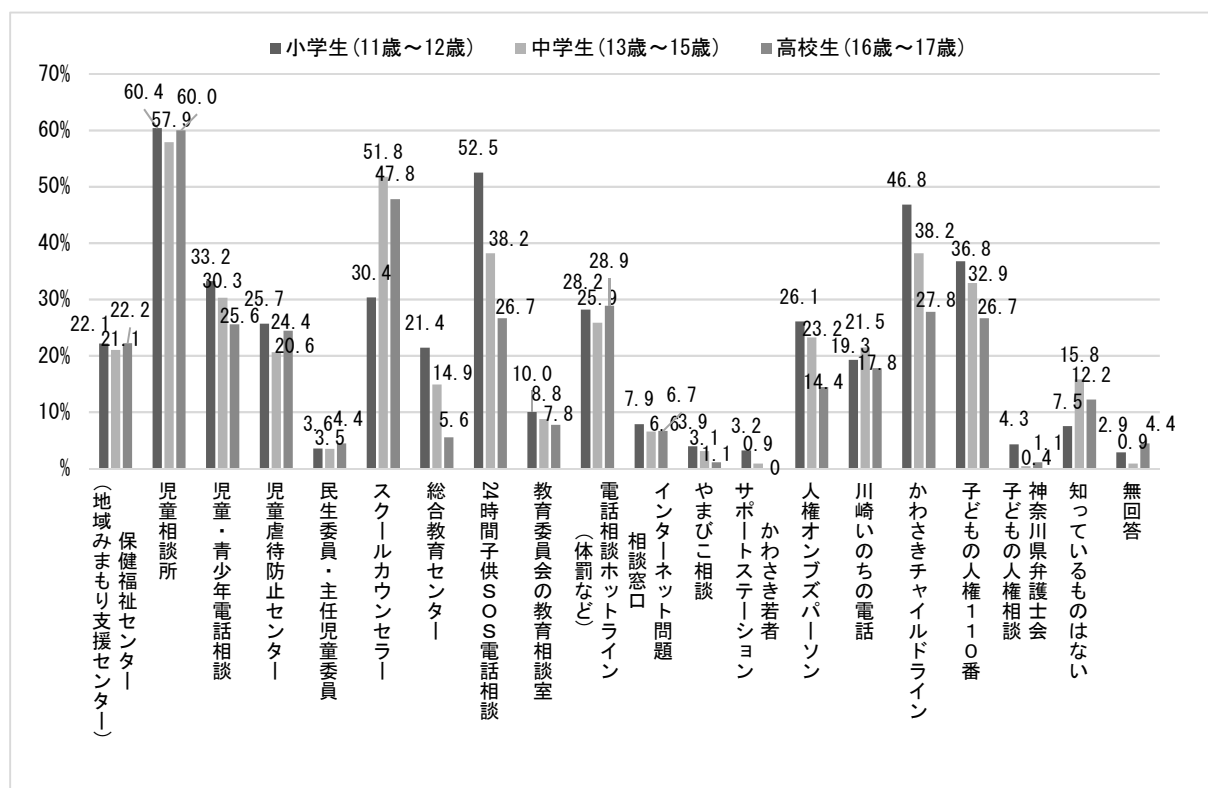


(2) 相談する場所

【子ども：年齢別】

子どもに、知っている川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）をたずねたところ、全世代で「児童相談所」と答える割合が最も高くなりました。次いで高かったのは、小学生世代は「24 時間子供SOS電話相談」、中学生世代と高校生世代は「スクールカウンセラー」でした。（図は P. 45 図 50 を参照）

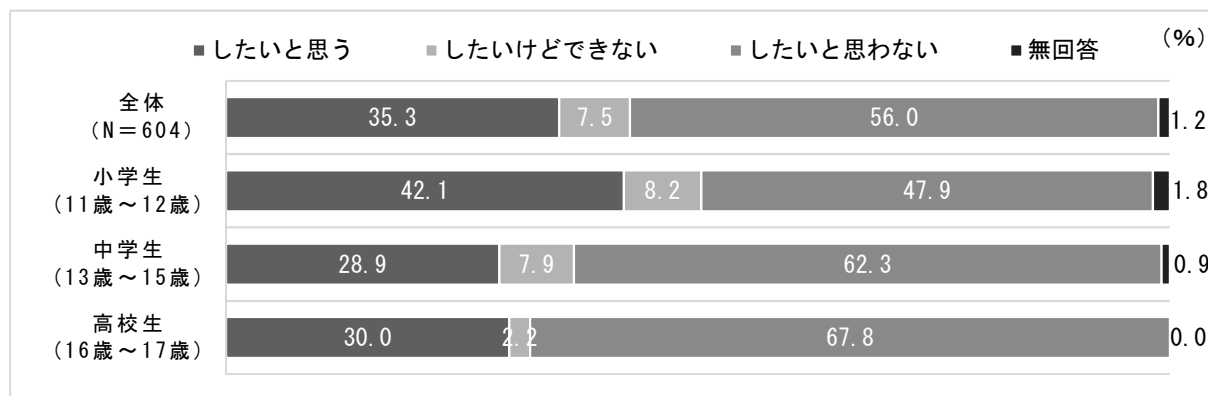
図 50 Q 18 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）を知っていますか。（複数選択可）【子ども：年齢別】



【子ども：年齢別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、Q 18 のような相談・救済機関に相談したいかをたずねたところ、「したいと思う」と回答する割合は、小学生世代で 42.1%、中学生世代は 28.9%、高校生世代は 30.0% でした。「したいけどできない」と回答する割合は、小学生世代で 8.2%、中学生世代は 7.9%、高校生世代は 2.2% でした。

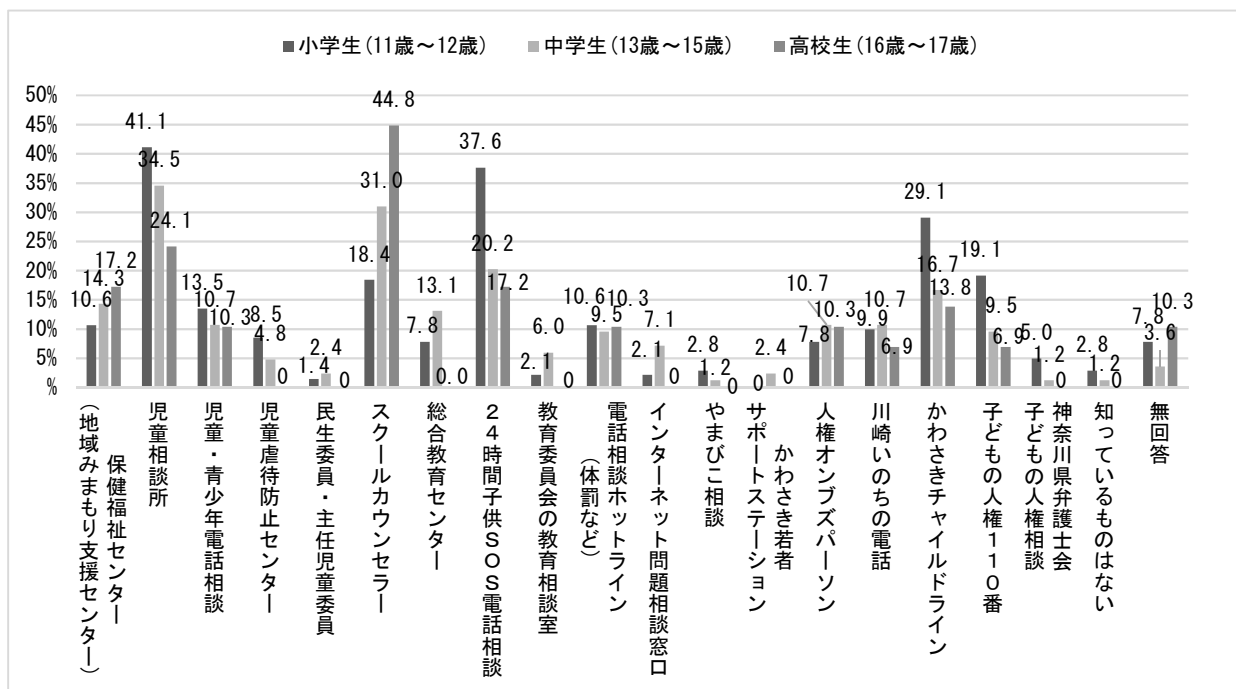
図 51 Q 19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q 18 のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。【子ども：年齢別】



【子ども：年齢別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談するかをたずねたところ、小学生世代と中学生世代では「児童相談所」と回答する割合が最も高く、高校生世代では「スクールカウンセラー」と回答する割合が最も高くなりました。

図 52 Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談しますか。(複数選択可)【子ども：年齢別】



子どもに、どのようなところなら相談しようと思うかたずねたところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

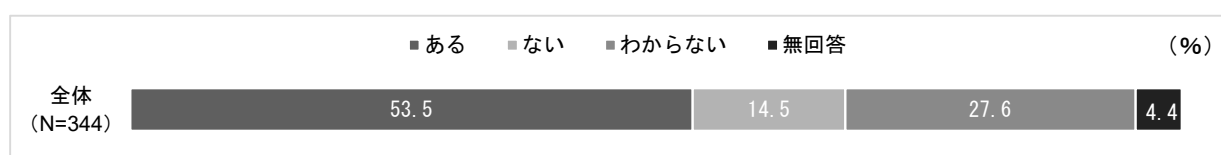
- ・親にれんらくがなくて、あんしんして、そうだんできるとこ(じょうほうがもれないとこ) (11歳)
- ・そもそも私は、知らない人に相談したくありません。(11歳)
- ・自分のプライバシーが守られているところ (12歳)
- ・利用しやすい。時間に限りがなく夜中などでも相談できるところ。(13歳)
- ・インターネットで相談できるところ。(14歳)
- ・日頃から親しい身近な他人 (14歳)
- ・同じような年代で話が合う人が相談相手のところ。(15歳)
- ・自分の話を聞いてくれて、否定されないところ。(15歳)
- ・自分の名前をふせる。必ず解決してくれる所。(15歳)
- ・話をじっくり聞いてくれて有効な解決策まで提示してくれるような信頼できそうな大人がいるところ (16歳)

- ・少しでも自分のことを知ってくれている人のところに行く。(16歳)
- ・直接や電話は相手になれてからで、文字を通してほしい。(17歳)

【職員】

職員に、職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことの仕組みがあるかをたずねたところ、全体で「ある」と答えた回答は53.5%でした。

図53 Q14 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことのできる仕組みがありますか。【職員：全体】



「わからない」と回答した理由（抜粋）

- ・個々の教員にゆだねられている（学校関係）
- ・仕組みはないがその場に応じた対応はある（学校関係）
- ・子どもの実態が違いすぎる（学校関係）
- ・仕組みはあるが子ども自身ができるかわからない（施設関係）
- ・仕組みとしてはありませんが、解決に向けて動けるように大人が支えたり、働きかけたりクラスで話しあったり等行なっています（施設関係）
- ・子ども自身が解決するため色々な機関と大人が紹介することはできると思います（施設関係）

「ある」と答えた職員に対し、職場で設けられている仕組みを教えてもらったところ、以下の様な回答がありました。（抜粋）

- ・保健室などもそうですが、児童支援コーディネータがおり、子どもに寄り添い解決に向かえるように促すことができていると思う。（学校関係）
- ・校内に相談室を設置し、休み時間に相談に来られる仕組みづくりをしている。また、年2回のアンケート実施を行っている（学校関係）
- ・開館時には基本的に常に子ども担当のスタッフがおり、一緒に遊んだり、話しをしたり、することができるようになっている。「何か」あればスタッフに相談できるという環境があり、一緒に解決に向かう。ステップをふむことで子ども自身が解決に向かうことになる。（施設関係）
- ・意見箱がある。第三者委員の存在が周知されている。（施設関係）